

処理前 ▶ 処理後

葉にかけて根まで枯らす!



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に記載された農薬です。

お得な大型規格あります!



野菜類でも、
果樹類でも、
家周りでも!

茎葉処理除草剤

安くて、よく効く、登録農薬!

農林水産省登録
第19929号



クサクリーン[®] 液剤

グリホサートイソプロピルアミン塩液剤

希釈倍数の目安
(通常散布の場合)

100倍

50倍

25倍



スズメノカタビラ



ギシギシ



カラムシ



クズ



シロツメクサ



ヨシ



ヨモギ



チガヤ



ヤブカラシ



ツクサ



セイトカアワダチソウ



ハコベ



ハマスゲ



ササ



スギナ (濃厚少量散布が効果的です。)

5L少量散布に適用拡大!



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社

★作物や適用雑草等によって薬量は異なります。必ず適用内容をご確認ください。 ※通常散布100ℓ/10aとの比較

クサクリーンは登録商標です

クサグリーン®液剤

使用基準

【2023年4月1日現在】

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当りの使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量(mL)	希釈水量(L)			
果樹類 (かんきつ、パイナップルを除く)		一年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期)	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	3回以内		3回以内
		多年生雑草		500-1000				
		かんきつ		250-500				
豆類 (種実、たけい、だいず、5つせを除く)		一年生雑草	は種7日前まで(雑草生育期)	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	2回以内		2回以内
		多年生雑草		500-1000				
		だいず		250-500				
えだまめ		一年生雑草	は種7日前まで(雑草生育期)	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	1回		4回以内
		多年生雑草		500-1000				
		小 麦		250-500				
麦類 (小麦を除く)		一年生雑草	は種7日前まで(雑草生育期)	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	3回以内		3回以内
		多年生雑草		500-1000				
		園場内の周縁部		250				
かんしょ		一年生雑草	は種7日前まで(雑草生育期)	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	1回		2回以内
		多年生雑草		500-1000				
		野 菜 類 (えだまめ、キャベツ、はつかだいこん、だいこん、とうからし類、にんじん、ピーマン、なす、たまねぎ、アスパラガス、オリーブ(葉)、きゅうり、たらこ、トマト、なす、ひか(葉)、ほうれんそう、レタス、薬用いんじん、豆類(種実、たけい、5つせを除く)、かんしょを除く)		一年生雑草				
アスパラガス、オリーブ(葉)、きゅうり、ひか(葉)、たらこ、トマト、なす、ひか(葉)、ほうれんそう、レタス								
薬用いんじん								
キャベツ								
だいこん								
はつかだいこん								
ね ぎ								
たまねぎ								
水田作物(水稲を除く)								
移植水稲		一年生雑草	耕起20~10日前(雑草生育期)	500-1000	通常散布 100 少量散布 5-15	1回		10回以内 (1年間に2回以内)
		多年生雑草		500				
		直 播 水 稲		500				
水田作物(水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	1回		1回
		多年生雑草		500-1000				
		水田作物(水田畦畔)		水田畦畔				
多年生雑草	500-1000							
水田作物、畑作物(休耕田)	休耕田	一年生雑草	雑草生育期	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	2回以内	3回以内	
さとうきび(春植え)		多年生雑草	耕起10日前まで(雑草生育期)	500-1000	通常散布 50~100 少量散布 25~50			1回
茶								
樹 木 類		一年生雑草	雑草生育期	250-500	通常散布 50~100 少量散布 25~50	4回以内		4回以内
牧 草	牧野、草地(更新・造成)	更新・造成の10日前まで(雑草生育期)	500-1000	通常散布 50 少量散布 5-15	2回以内	3回以内		
		一年生雑草	250-500	通常散布 25-50				
		多年生雑草	250-500	通常散布 25-50				
樹 木 等	公園、庭園、堤防、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草	雑草生育期	500	通常散布 100 少量散布 25、5-15	3回以内	3回以内	
		多年生雑草	生育盛期	1,000	少量散布 25-50、5-15			
		スギ	生育盛期以降	2,000	少量散布 20-30、5-15			
林 木	造林地(地ごしらえ)	スギ、ササ類、クズ等の多年生雑草、落葉雑草	生育盛期以降	1,000	少量散布 20-30、5-15	3回以内	雑草茎葉散布	

上手な使い方

- 雑草発生前の散布は、効果がありません!
- 天気の良い日に散布してください!
- 希釈の際はきれいな水を使いましょう!
- ムラなく散布してください!
- 散布前と散布後7~10日間は、雑草を刈り払わないでください!

散布適期は、雑草の生育盛期

- 一年生雑草
 - 発生がほぼ完了し、草丈が15~30cm位になった頃に散布すると安定した効果がえられます。
- 多年生雑草
 - 根まで枯らすためには、生育盛期*~開花期前までに散布するのが効果的です。

雑草の種類やステージによって使用量を決める

- 通常散布の場合 ※10アールあたりの使用量
 - 一年生雑草が優占する場合
 - 250~500mLを50~100Lの水に希釈して散布*
 - 多年生雑草が優占する場合
 - 500~1,000mLを50~100Lの水に希釈して散布*
- 少量散布の場合 ※希釈水量に応じた少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布
 - 一年生雑草が優占する場合
 - 250~500mLを5~15L、25~50Lの水に希釈して散布*
 - 多年生雑草が優占する場合
 - 500~1,000mLを5~15L、25~50Lの水に希釈して散布*

注意事項

- 本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 泥などで濁った水は効果を低下させるので本剤の調製には用いないください。
- 農作物の加用の必要はありません。
- 本剤は土壌中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はありません。
- 本剤は雑草生育期(草丈30cm以下)に有効なので、時期を失わないように散布してください。
- 本剤は散布時の雑草の草丈や葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないでください。
- 本剤は通常2~14日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誘って再散布しないでください。
- スキナ防除に際しては、スキナの生育期を過ぎた時期での散布及びスキナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣る事があるため、適期にスキナにかきおろすように注意して散布してください。
- 処理後数時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めながら散布してください。
- 少量散布の場合は、希釈水量に応じた少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布してください。
- 水田への飛散、流入等により水稲に被害を生じるので、十分注意してください。
- 出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると被害を生じる可能性があるため、必ず出芽前に散布してください。
- ①注：処理後おおよそ1週間程度は、散布した箇所に注意して散布してください。
- ①クズには枝葉にクズなどをつき、葉液がくしみ込むように注入処理してください。
- ②落葉雑草には、樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ、葉液を注入処理してください。
- ③処理時から15m以内で発生したクズの発生に供さないでください。また、雑草の根元を掘りおろすなどの対策を講じてください。
- 雑草かん木に散布処理を行う場合は、収穫後、直ちに切り口全面に直接散布してください。
- 特に生育期時散布に使用する場合は作物にかからないよう十分注意して散布してください。
- 農作物や有用植物に葉液が付着すると、激しい葉害が生じるので、かからないよう十分注意してください。
- 本剤は散布機に使用する場合は、散布機の内層のない鋼鉄製(ステンレス)の容器は使用しないでください。なお散布液を調整した容器及び散布器具は、使用後に十分に水洗いしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 土が乾いたら、くずれたりするおそれのある所では使用しないでください。
- 公園、堤防等で使用する場合は、以下のように注意してください。
- ①水溜池、養魚池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- ②散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 適用作物に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、散布後セーフティネット等の保護措置を講じてください。
- 本剤は樹に刺す刺激性があるため樹に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- 使用の際は農作業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手洗、顔などをよく洗ってください。
- 使用済みの本剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 水生動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚池等周辺での使用はさけてください。
- 水生動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手が届く所には置かないでください。○容器・空袋などは園場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記録しましょう。
*本製品は農薬用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 *本印刷物は2023年4月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学 クロップ & ライフ ソリューション株式会社
 東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイビルディング
 ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>